

さぬき市教育事務点検評価委員会（第2回） 会議要旨（要約）

- 1 日 時 平成23年7月13日（水） 13:30～14:30
- 2 場 所 さぬき市教育委員会2階会議室
- 3 出席者〔委員〕宮本 強 木村 イツ子 安富 敏朗  
 〔事務局〕安藤教育長 六車教育部長 穴吹教育総務課長 牟礼学校教育課長  
 中野生涯学習課長 中村学校再編対策室長 竹内学校教育課主幹  
 大山教育総務課係長  
 〔傍聴〕 なし
- 4 議 題 さぬき市教育委員会の事務の点検及び評価報告に対する意見等について  
 その他
- 5 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
（事務局）	<p>ただ今から、さぬき市教育事務点検評価委員会（第2回）を開会します。開会にあたり、教育長よりごあいさつ申し上げます。</p> <p>（教育長あいさつ）</p>
（事務局）	<p>それでは、これより議事に移ります。お手元に配布している次第に沿って会議を進めてまいります。</p> <p>「教育委員会の事務の点検及び評価報告に対する意見等について」は、既に意見書をいただいておりますが、今日は改めてご意見を頂戴したいと思います。</p>
（各委員）	（別添意見書のとおり）
（事務局）	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございました。</p> <p>それでは、ご意見に対しての教育委員会としての方針や考え等を申し上げます。</p>
（事務局）	<p>青少年旅行村については、利用者が激減しており、地元と協議の上で休村としおります。将来的にもこのような施設を維持していくことは難しく、また、鴨部川の河川敷地でもあることから、旅行村としての再開は難しいものと考えております。</p>
（事務局）	<p>学校給食における地産地消率を上げていくことについては、市内の学校給食を賄えるだけの食材を市内で確保することは非常に難しい状況の中で、平均すると30%の使用割合となっております。今後については、生産者と連携した取り組みが重要であると考えております。</p>
（事務局）	<p>外国語指導助手の移動手段の改善については、有効に時間を使えるよう</p>

	<p>移動手段等の改善を検討したいと考えております。</p>
(事務局)	<p>幼保一元化の推進については、国の動向を見極めるとともに、さぬき市の教育にとって、どのような就学前教育が望ましいのか研究していきたいと思っております。</p>
(事務局)	<p>総合型地域スポーツクラブ設立については、地域のまちづくりの核になるものと考えております。生涯学習課で更に検討を進め、まちづくりの一助にしたいと思っております。</p>
(事務局)	<p>社会科副読本については、記述内容や写真等の全面的な見直しを行ったところであります。さぬき市を理解し、愛する心の一助となるような副読本にしたいと考えております。</p>
(事務局)	<p>続いて、その他に移ります。 先ほど、点検・評価に対する意見等をお伺いしましたが、ほかに何かありましたら、お願いいたします。</p>
(委員)	<p>体育施設、文化施設の適正規模について、検討を行っているのでしょうか。また、統合に向けた長期プラン等をお持ちでしょうか。</p>
(事務局)	<p>現在のところ、そのようなプラン等はありませんが、市長部局の政策課において施設のあり方等を検討しております。</p>
(委員)	<p>清掃等が十分にできていない社会教育施設があります。使った方、使った団体が自ら清掃ぐらいはすべきと思っております。言い難いとは思いますが、よろしく申し上げます。</p>
(事務局)	<p>定期使用団体の総会等の場で、そのようなお願いをしたいと思っております。</p>
(事務局)	<p>ほかに意見等はございませんか。</p>
	<p>(意見・質疑等なし)</p>
	<p>ご意見等がないようですので、以上を持ちまして本日の会議を閉会させていただきます。</p>
	<p>委員各位におかれましては、お忙しい中ご出席いただき、貴重なご意見を賜りましたこと、お礼申し上げます。</p>

## 学識経験者の意見

教育事務点検評価委員 宮本 強

### 1. 「生涯にわたって学び、自立して生きる力を持つ人をはぐくむ」について

小・中学校における複数担任制、小規模校複式解消等のため教員の配置が、適切になされていることは評価できる。また、外国語指導助手の派遣も人数的には適切に行なわれているが、継続的な授業や学校行事への参加、生徒や教師との交流を図る上で、同一助手の長期派遣が望まれる。併せて、指導助手の有効な活用のため、学校間の移動に便宜を図る必要がある。

学校再編計画に伴って新校舎の建築が今後進められていくことになるが、このたびの東日本大震災の教訓を踏まえて、耐震化には十分配慮する必要がある。

### 2. 「自然や人間・文化に学び、ふるさとを愛する人をはぐくむ」について

さぬき市は、有形無形の文化財や自然が豊かである。これらを学校で教材として活かす副教材を充実するとともに、校外活動や遠足などで現地学習を実施することも更に必要であろう。

公民館を拠点とした社会人の文化活動は、近年活発である。また、公民館のIT講座は好評である。その一方で、備品や施設の老朽化により不便をもたらしているため、早急な改善が望まれる。

### 3. 「ふれあいと連帯の心を養い、人権を尊重する人をはぐくむ」について

人権教育は学校や研究グループ、関係団体において、熱心な取り組みが行われていることは評価できる。今後は、教育委員会関係のみならず、福祉・環境、男女共同参画などの課題について市長部局との連携、共催を積極的に進めていく必要がある。

### 4. 「生命の尊重と健康の増進に努め、しなやかな心身を持つ人をはぐくむ」について

「早寝、早起き、朝ごはん運動」は、児童・生徒の健康に関わる生活習慣であるので、今後とも、継続的に推進していくことが大切である。

学校給食の地産地消率は30%程度のものであるが、市内生産の活性化のため、今後消費率を高めていくことも必要である。

鴨部川河口付近は、豊かな臨海公園として相応しいスポットである。ここの青少年旅行村は現在休村となっているが、今後のあり方について検討する必要がある。

### 5. 「教育委員会の活動状況」について

学校や社会教育の各種行事に積極的に出席して、指導助言とともに、現状の把握や理解に努めていることは評価できる。様々な機会に、国や県、他市町の状況等を発信して頂きたい。

1. 「生涯にわたって学び、自立して生きる力を持つ人をはぐくむ」について  
幼児教育並びに学校教育の充実のため、学校訪問による基礎的指導、教職員の適正配置に伴う予算措置等、人的教育環境は評価できる。教職員の資質向上につながる不易の部分により充実するよう大いに期待したい。  
学校の適正配置や施設の整備が計画的に進捗しているのは評価できる。  
生涯学習の基本となる公民館における自主講座は、高齢者等の生きがいづくりに寄与している。ただ、講座の状況調査は必要である。  
幼稚園の預かり保育が、保護者のニーズにより実施されていることは評価できる。今後は、本市の教育水準の均等化と育児サービスの効率化を目指し、独自の幼保一元化の推進に期待したい。
2. 「自然や人間・文化に学び、ふるさとを愛する人をはぐくむ」について  
郷土愛を育てるためのふるさと教育、社会科副読本を利用した学習の取り組みは評価できる。雨滝自然科学館の活用方法の検討が必要である。  
文化団体・文化財保護団体は、長年の文化活動の歴史があるだけに活動も意欲的であり、文化財保護並びに文化の継承活動に対して、意識の高まりが見られ評価できる。  
本市は、古墳から発掘された全国的にも貴重な出土品が、各地区で遺産として展示されているが、一箇所で郷土「さぬき市」が学べ、後世に伝えられる展示場の整備が望まれる。
3. 「ふれあいと連帯の心を養い、人権を尊重する人をはぐくむ」について  
人間はお互いに人権が尊重され、平和で豊かな社会の実現のため、人権教育と啓発活動が学校、地域、企業において計画的に推進されていることは、人権意識の高揚につながり評価できる。  
人権・同和問題に関する学習機会の提供として、教育関係者だけでなく市民の参加講座として、「人権まなび講座」や「人権出前講座」は今後も継続し、参加者増加の手だてを期待したい。
4. 「生命の尊重と健康の増進に努め、しなやかな心身を持つ人をはぐくむ」について  
生命の安全は、「危機管理マニュアル」に基づき日常危機感を持ち、反省、再点検を重ねて非常時に適切な対応ができるよう期待したい。  
心に悩みを抱える児童生徒や保護者に対する専門員の配置は、効果が見られ評価できる。児童生徒の問題行動に対しては、学校だけで抱え込まず、少年育成センターや警察と連携を密にし、早期発見・早期対応を望みたい。  
昨今、食育の大切さは、学校・家庭・地域をはじめ社会全般のテーマとして認識されつつある。本市も積極的に取り組み、食育指導と併せ、分かりやすいキャッチフレーズの「早寝早起き朝ごはん」運動は、学習意欲や体力・気力の向上につながるので評価したい。  
各種スポーツの振興は、指導者によるところが大きいので、優秀な指導者育成に期待したい。
5. 「教育委員会の活動状況」について  
教育委員の各種会議や研修への取り組みは評価できる。厳しい財政事情ではあるが、市民に身近な教育委員会は、市民の拠り所となる魅力ある施策に期待したい。

1. 「生涯にわたって学び、自立して生きる力を持つ人をはぐくむ」について

本市は、生涯学習基本計画を策定し、地域の学習拠点である社会教育施設の整備、社会教育団体や指導者の育成などに系統的・計画的に取り組んでいる。学校教育では、新しい学習指導要領の実施に向けた条件整備に努めている。また、確かな学力を培うため、教員等の配置による指導体制の確立、教員の資質・能力の向上、家庭や地域住民等の連携・協力、進学・就学支援などに尽力している。さらに、教育の充実・振興を図るため、学校規模の適正化や安全で質の高い環境の整備を、県下でいち早く推進している。

今後は、基本的な学習習慣の形成などに向け、家庭教育支援の充実に期待したい。

2. 「自然や人間・文化に学び、ふるさとを愛する人をはぐくむ」について

本市は、自然や人間、文化の保護・活用、芸術文化活動の振興に計画的に取り組んでいる。また、社会科副読本の配布やふるさと教育推進校の指定により、ふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持ち、たくましく生きる心豊かな人づくりに努めている。さらに、文化団体の育成・支援により、本市の芸術文化活動の推進に寄与している。

今後は、資料館や文化施設等の整備と有効的な活用に期待したい。

3. 「ふれあいと連帯の心を養い、人権を尊重する人をはぐくむ」について。

本市は、人権課題の解決と人権が尊重される社会の実現に向け、学校教育や社会教育のあらゆる場において人権教育の推進を図っている。その教育の推進に向け、研修会の開催や参加、市民や社会教育団体への学習支援並びに啓発活動、学習材の開発・整備、熱意ある指導者の養成など充実した施策を講じている。

今後は、学校教育と社会教育の密接な連携による人権教育に期待したい。

4. 「生命の尊重と健康の増進に努め、しなやかな心身を持つ人をはぐくむ」について

本市は、道徳教育、教育相談や健全育成、学校における食育の推進など、心と体の健康問題への対応や安全確保に取り組み、子どもたちの健やかな成長や安全で安心な環境づくりに努めている。また、調査結果を生かした学校への支援、幼稚園庭の芝生化の促進や部活動への支援などにより、人間力の重要な要素である体力向上に努めている。

今後は、総合型地域スポーツクラブの設立に向けた条件整備を早急に進められ、生涯スポーツ社会の実現を図られたい。

5. 「教育委員会の活動状況」について

本市の教育委員会は、各種会議の開催、学校訪問や各種行事への参加などにより、さぬき市総合計画基本構想の進ちょく状況や教育施策の推進状況等の把握に努めている。そして、その結果を学校の管理運営の指導・助言や社会教育、学術、文化などに関する事務の管理や執行などに生かしている。また、教育委員が教育行政の運営に関して適切な判断・決定が行われるようにするため、教育委員の研修の充実に努めている。

